

令和4年7月21日

新潟市長 中原八一様

新潟水泳協会

会長 石川志郎

理事長 石見鉄夫

<事務局>

〒951-8142 新潟市中央区関屋大川前 1-3-31-7

TEL. FAX 025(265)7481

西海岸公園市営プール 屋外プール改築・移転についての要望

1. 要望の内容

西海岸公園市営プール（中央区関屋1）屋外50mプールの、屋内プールへの改築または移転をお願いいたします。

2. 要望の理由

西海岸公園屋外50mプール（以下西海岸プール）は昭和42年設立後55年が経過し、この間幾度かリニューアルを重ねているものの、プール本体及び濾過・衛生・空調等設備の老朽化が著しく進んでおります。

また、新潟市内唯一の日本水泳連盟公認競泳プール（50m）であるため新潟県内の小学・中学・高校生を対象とする公認水泳大会が開催されますが、昭和時代に建てられた当該プールは、もはや現代の競泳競技ルールや参加選手の競技レベルに対応できておりません。

以下、その主な具体例を列記いたします。

①屋外プール

屋外プールは夏場しか利用できず、天候により参加選手の競技成績が大きく左右されてしまいます。特に真夏は水温が選手の健康を害するほどに上昇することが多く、熱中症の危険性も増大します。

通年、安定したコンディションで利用できる屋内50mプールの設立が求められています。

②水深

国内において公認水泳大会を実施する際、スタート・ターン側の水深は小学生では140cm以上、高校生以上の体格なら200cmを確保するのが一般的ですが、西海岸プールの水深は120cmしかありません。

今では殆どの選手がスタート・ターン後に深く潜りドルフィンキックをしてから泳ぎ始めますが、水深120cmでは泳者のお腹や足が水底にぶつかり危険であるとともに、それが大きなタイムロスにつながっております。

③スタート台の形状

今では基本形となっているクラウチングスタートの有利さを発揮するため、スタート台は傾斜があり後部に踏切板のついた形状が一般的となっておりますが、西海岸プールのスタート台は旧式のフラットな形状のままです。

④レーン数

今の競技用プールは10レーンが主流となっておりますが、西海岸プールは9レーンです。

⑤選手の安全で快適な休憩スペース

西海岸プールの選手休憩スペースは広さ、換気ともに不十分です。コロナ感染予防のためにも、3密を避けられる広さがあり、十分な換気を確保できる休憩スペースが必要です。

⑥音響設備

競技会を盛り上げるために昨今音楽や通告の役割が大きくなってきております。しかし、西海岸プールは音量、音質ともに不十分なため出場選手が聞き取れないことが多く、音響設備の更新が不可欠です。

⑦シャワー、トイレ

屋内プールと比べて屋外プールのシャワー、トイレの数が圧倒的に少なく、その内装・形状も旧式のものも多く残っています。適切な衛生管理を行い、参加選手がストレスなく競技に打ち込める環境づくりのためにもシャワー、トイレ設備の改善が求められます。この他、電光表示設備・自動審判計時装置の入替、記録室・競技役員控室の確保、十分な観覧席・応援席の確保などが必要かと考えられますが、詳細は改めてお伝えしたいと思います。

西海岸プールは、現行の日本水泳連盟公認基準を満たしておりません。(水深・プール長・水温調節設備など)ただし、旧規則の下で公認を受けたプールであるため、特例として再公認が認められています。

しかし、規則には「プールの改造または大規模な修繕工事を行った場合は現規則を適用する」と定められており、今後上記に列記した修繕等を部分的に実施した場合、再公認が受けられなくなる可能性がございます。

以下に日本水泳連盟公認基準と西海岸プールとの主な違いを表記いたします。

項目	公認基準	西海岸プール
水深	スタート・ターン側から6mまでは1.35m以上	スタート・ターン側 1.20m 中央 1.60m
プール長	タッチ版を両端に付ける場合は50.02m	50.01mしかないため タッチ板は片側にしか付けられない
水温調節	25℃～28℃を保てる 昇温・冷却設備	調整不可

以上が要望の理由でございます。

何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。